

令和7年度施策・取組評価結果

(1) 評価		施策の 評価	取組の評価				取組数
			a	b	c	d	
1	社会的な取組で自殺対策を推進する	A	<u>3</u>	<u>1</u>	0	0	4
2	関連施策との有機的な連携と民間団体との協働を推進する	A	<u>2</u>	<u>1</u>	0	0	3
3	市民のこころの健康づくりを推進する	A	<u>2</u>	<u>1</u>	0	0	3
4	自殺対策に関わる人材の育成を推進する	A	<u>1</u>	<u>1</u>	0	0	2
5	こども・若者の自殺対策を推進する	A	<u>5</u>	<u>1</u>	0	0	6
6	地域レベルの実践的な取組を推進する	A	2	0	0	0	2
7	市民一人ひとりの気づきと見守りを促す	A	3	0	0	0	3
8	精神保健医療サービスを推進する	A	<u>2</u>	<u>1</u>	0	0	3
計			<u>20</u>	<u>6</u>	0	0	26

(2) 評価の目安(市施策評価の総合評価の目安を準用)

- A : すべての取組の評価が aまたは bであり、かつ、5割以上が aであることから施策の方向性に沿って順調に進行している。
- B : ① すべての取組の評価が aまたは bであり、かつ、5割以上が bである。
② 一部の取組の評価が cであるが、5割以上は aまたは bである。
①または②から施策の方向性に沿って、概ね順調に進行している。
- C : A・B・D以外、施策の方向性に沿った進行に、やや遅れが生じている。
- D : 7割以上の取組の評価がdであることから、施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている。

(3) 留意点

「地域自殺対策計画」策定・見直しの手引p33-34
自殺対策は、各事業の推進・達成状況を整理した上で、各事業や事業群を「結果」と「プロセス」の両面から総合的に評価することが大切です。
事業の達成状況等の「プロセス」にも留意して、各事業や事業群の評価を総合的に行う必要があります。

(4) 評価指標の規定(市データヘルス計画の保健事業の評価を準用)

ストラクチャ評価(構造)
事業を実施するための仕組みや体制を評価するもの
具体的な評価指標としては、事業に従事する職員の体制(職種・職員数・職員の資質等)

プロセス評価(過程)

事業の目的や達成に向けた過程(手順)や活動状況を評価するもの
具体的な評価指標としては、周知活動、事業の実施過程等

アウトプット評価(事業実施量)

目的・目標の達成のために行われる事業の実施量や業務量を評価するもの
具体的な評価指標としては、事業の実施回数、イベント等の開催回数等

アウトカム評価(結果)

事業の目的・目標の達成度、また、成果の数値目標を評価するもの
具体的な評価指標としては、自殺者数の減少、自殺死亡率の減少等

茨木市のいち支える自殺対策計画（第2次） 施策・取組評価シート

1	基本目標	1 お互いにつながり支え合える		
2	施策	1 社会的な取組で自殺対策を推進する		
3	施策の評価 及び 取組の評価	施策の評価	施策に含む各取組の評価	
		A	a 1-1 地域における相談体制の整備	
			a 1-2 児童虐待や性犯罪・性暴力の被害者への支援	
			b 1-3 孤独・孤立対策	
			a 1-4 自殺未遂者及びその家族等に対する支援	
A：順調に進行 B：おおむね順調に進行 C：進行にやや遅れ D：進行に大幅な遅れ				
4	評価 ・ 課題	(1)地域における相談体制の整備については、健康づくりや生活の困りごと、障害や介護、子育てに関することなど、世代や分野を問わず相談ができる場所としての認識が広がってきており、様々なサポートの実施により、相談者の問題解決に向け、適切な支援が実施でき、安定した自立生活へと繋がってきており、積極的な周知活動のプロセスがあることから[a]とします。		
		(2)児童虐待や性犯罪・性暴力の被害者への支援については、要保護児童対策地域協議会の関係機関との情報共有や連携により、児童虐待の早期発見、早期対応に努めることができ、事業実施過程のプロセスの評価ができること、また、性犯罪・性犯罪被害者の相談に対応できるよう連携体制のストラクチャがあり、事業の実施過程が順調に進行しているプロセスがあることから[a]とします。		
		(3)孤独・孤立対策については、地域での見守りが必要な高齢者やその家族に対して、民生委員や地域包括支援センターなどの関係機関と連携し課題を共有することで、包括的・継続的な支援に繋がってきており、おおむね順調に進行していることから[b]とします。		
		(4)自殺未遂者及びその家族等に対する支援については、精神保健福祉士を切れ目なく配置でき、傾聴・助言や他機関への連絡・調整に努める体制づくりが当初の計画通りに順調に進行していることから[a]とします。ただし、実際の取組については課題があります。		
		以上のことから、本施策については、自殺未遂者及びその家族等に対する支援に一定の課題があるものの、施策の方向性に沿って順調に推移しているため、「A」評価とします。		

1	取組	1-1 地域における相談体制の整備					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			10	A	B	C	D
	a	こころの悩みや不安がある人に対する、相談等におけるきめ細やかな支援や相談窓口の情報等の分かりやすい発信を行う。	2	2	0	0	0
		様々な課題のある生活困窮者の早期把握に努め、個々の状況に応じた相談支援や就労支援を実施する。また、生活保護受給世帯に対する生活状況の把握とともに適切な支援を実施する。	2	1	1	0	0
		職場におけるハラスメント防止対策やメンタルヘルス対策の充実を図るため、その周知・啓発、相談窓口の設置、適切な支援を実施する。	2	0	2	0	0
		地域の専門相談支援機関が、自殺や精神疾患についての正しい知識を持ち、悩みや自殺のサインに気づき、必要な関係機関と連携を図ることができるように、情報提供を行う。	2	1	1	0	0
		固定的な性別役割分担意識等による様々な不安や悩み等に関して、男女共同参画の視点からの相談支援を行う。	1	1	0	0	0
		自死遺族等に対する相談支援に努め、自助グループ等に関する情報提供や必要に応じて各種相談窓口との連携を図る。	1	0	1	0	0

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	1-2 児童虐待や性犯罪・性暴力の被害者への支援					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			2	A	B	C	D
	a	児童虐待の発生予防、早期発見・早期対応や虐待を受けたこどもの適切な支援を図るため、大阪府子ども家庭センターや市担当部署、警察等が相互に情報を共有し連携する。 性犯罪・性暴力被害者に対する相談体制の充実を図るとともに、被害者の心情に配慮した相談支援機関との連携を図る。	1	0	1	0	0
			1	0	1	0	0

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	1-3 孤独・孤立対策					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			5	A	B	C	D
	b	孤独・孤立の状態にある人や、陥る可能性のある人が地域住民等とつながり、必要な支援につながるように、市担当部署や専門相談支援機関と連携して取り組む。 ひきこもりの状態にある人に対して、孤立を防ぐ居場所づくりやひきこもりに関する専門相談などの支援を実施する。	2	0	2	0	0
			3	0	3	0	0

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	1-4 自殺未遂者及びその家族等に対する支援					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			2	A	B	C	D
	a	自殺未遂者の名誉や生活の平穏に配慮しつつ、自殺未遂の背景となった問題を解決するため関係機関と連携し、包括的な支援を実施する。 —	2	1	1	0	0

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

茨木市のいち支える自殺対策計画（第2次） 施策・取組評価シート

1	基本目標	1 お互いにつながり支え合える		
2	施策	2 関連施策との有機的な連携と民間団体等との協働を推進する		
3	施策の評価 及び 取組の評価	施策の評価	施策に含む各取組の評価	
		A	b 2-1 庁内・庁外における連携	
			a 2-2 自殺対策に取り組む民間団体との協働	
			a 2-3 依存症対策	
		A：順調に進行 B：おおむね順調に進行 C：進行にやや遅れ D：進行に大幅な遅れ		
4	評価・課題	(1)庁内・庁外における連携については、様々な分野の関係機関・団体等との連携と協力により、第1次の評価及び第2次の取組について必要な事項を検討し、当初の計画通り、<u>おおむね順調に進行していることから[b]とします。</u> (2)自殺対策に取り組む民間団体との協働については、専門職の支援や関係機関との連携が必要な場合には、実用的な支援を検討する機会を設けるストラクチャがあり、積極的な周知活動を行い順調に進行しているプロセスがあることから[a]とします。 (3)依存症対策については、ハイリスク者対策が図られており、当初の計画通りに進展した。当事者団体との連携も図られ、関係機関・関係団体への周知が図られており、当初の計画通りに順調に進行していることから[a]とします。ただし、実際の取組については課題があります。 以上のことから、本施策については、依存症対策に一定の課題があるものの、施策の方向性に沿って順調に推移しているため、「A」評価とします。		

1	取組	2-1 庁内・庁外における連携					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			8	A	B	C	D
	<u>b</u>	茨木市自殺対策推進会議において、自殺の実態や自殺対策の実施状況について必要な事項を検討し、自殺対策の円滑な推進を図ることができるように、情報共有や関係各課との連携を図る。	1	1	0	0	0
		茨木市自殺対策ネットワーク連絡会において、自殺対策に係る情報を共有し自殺対策の総合的な推進を図るため、様々な分野の関係機関・団体、関係各課等との連携を図る。	1	0	1	0	0
		生きづらさや課題がある人に対し、関係各課との連携を強化し、子ども・若者や障害者の自立支援、生活困窮に関する支援等の推進を図る。	5	1	4	0	0
救急活動における傷病者情報は、十分な個人情報保護措置を講じた上、自殺リスクに関する情報は医療機関や警察との連携を図る。		1	0	1	0	0	

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	2-2 自殺対策に取り組む民間団体との協働					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			1	A	B	C	D
	a	自殺未遂者や自死遺族等の支援に取り組む民間団体を紹介しつなぐ など、民間団体と連携を図る。	1	0	1	0	0
—							

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	2-3 依存症対策					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			2	A	B	C	D
		a	自殺の危険因子である依存症について、保健所や医療機関等と連携を図り、必要に応じて当事者団体との連携を図る。	1	1	0	0
	薬品等の不適切な使用による健康被害についての周知・啓発に努める。	1	1	0	0	0	

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

茨木市いのち支える自殺対策計画（第2次） 施策・取組評価シート

1	基本目標	2 健康にいきいきと自立した日常生活を送れる		
2	施策	3 市民のこころの健康づくりを推進する		
3	施策の評価 及び 取組の評価	施策の評価	施策に含む各取組の評価	
		A	a 3-1 こころの健康の保持・増進	
			a 3-2 ワーク・ライフ・バランスの推進	
			b 3-3 高齢者のこころの健康づくりの推進	
		A：順調に進行 B：おおむね順調に進行 C：進行にやや遅れ D：進行に大幅な遅れ		
4	評価・課題	(1)こころの健康の保持・増進については、週間や月間に合わせて普及啓発が図られており、当初の計画通り順調に進行しているプロセスがあることから[a]とします。 (2)ワーク・ライフ・バランスの推進については、時間外勤務のさらなる抑制に努めるとともに、年休取得の促進等を行った。働きやすい職場づくり推進事業所認定制度について、新たに社内環境整備や健康経営等の項目を設定したストラクチャが評価できること。また、メンタルヘルス研修で係長級以上の職員にはラインケアを、その他の職員にはセルフケアを中心に実施しアウトプットの評価ができ、それぞれの立場でのメンタルヘルスへの理解を推進することができ、積極的な周知活動を行い順調に進行しているプロセスがあることから[a]とします。 (3)高齢者のこころの健康づくりの推進については、いきいき交流広場や老人クラブ、地区福祉委員会などの活動を支援することで、外出や交流の機会が促進され、在宅高齢者の福祉の向上に取り組めた。また、地域包括支援センターを市内14エリアに設置し、相談体制の強化が図られ高齢者の総合相談窓口として、関係機関との連携を図りながら、支援を実施した。また、認知症地域支援推進員が家族教室を開催し、介護者が認知症に関する知識を得たり交流する場を設けた。他、認知症の人及びその家族等の憩いの場となる「いばらきオレンジかふえ」を地域に設置する団体を支援し、おおむね順調に進行していることから[b]とします。 以上のことから、本施策の方向性に沿って順調に推移しているため、「A」評価とします。		

1	取組	3-1 こころの健康の保持・増進					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			7	A	B	C	D
	a	市広報誌やホームページ等を活用し、こころの健康づくりに関する正しい知識についての普及啓発に努める。	1	1	0	0	0
		ストレス等から起こる様々な疾病やこころの病気の予防について、普及啓発に努める。	1	1	0	0	0
	大規模災害等の発生時、被災者や要配慮者等のこころのケアを行い、安全・安心な生活が送れるように、必要な備えの対策を行う。	5	3	2	0	0	

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	3-2　ワーク・ライフ・バランスの推進						
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況				
			4	A	B	C	D	
	a	職域におけるメンタルヘルス対策を推進するため、ワーク・ライフ・バランスの考え方のもと、勤務問題による自殺リスクを減少させる取組を行う。	2	1	1	0	0	
労働者や経営者に対して、メンタルヘルスケアの重要性に関する普及啓発に努める。		2	1	1	0	0		

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	3-3 高齢者のこころの健康づくりの推進					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			5	A	B	C	D
	<u>b</u>	高齢者の閉じこもりやうつ状態になることを予防するため、介護予防や孤独・孤立 対策等の居場所づくりや社会参加の推進や、相談体制の充実を図る。	5	2	3	0	0
		—					

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

茨木市いのち支える自殺対策計画（第2次） 施策・取組評価シート

1	基本目標	3 憩える 参加できる 活躍できる		
2	施策	4 自殺対策に関わる人材の育成を推進する		
3	施策の評価 及び 取組の評価	施策の評価	施策に含む各取組の評価	
		A	b 4-1 自殺対策に関わる職員の資質の向上	
			a 4-2 地域におけるゲートキーパー養成の取組	
		A：順調に進行 B：おおむね順調に進行 C：進行にやや遅れ D：進行に大幅な遅れ		
4	評価・課題	(1)自殺対策に関わる職員の資質の向上については、人権問題研修において、自殺を防止するために必要とされる知識や技術の習得を図るための研修を実施した。他に、認知症を正しく理解し、認知症の人と家族を温かく見守る認知症サポーターの養成に取り組み、認知症になっても安心して暮らせる街づくりに努め、 <u>おおむね順調に進行していることから[b]とします。</u>		
		(2)地域におけるゲートキーパー養成の取組については、実施回数の向上が図られており、当初の計画を上回っていることや、 <u>積極的な周知活動が行えており、おおむね順調に進展しているプロセスがあることから[a]とします。</u>		
		以上のことから、本施策については、 <u>自殺対策に関わる職員の資質の向上について一定の課題があるものの、施策の方向性に沿って順調に推移しているため、「A」評価とします。</u>		

1	取組	4-1 自殺対策に関わる職員の資質の向上					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			7	A	B	C	D
	<u>b</u>	精神保健、福祉、介護関係職員や市職員等で自殺対策に関わる可能性が高い人に対して、自殺の危険因子の一つであるうつ病等の精神疾患についての理解を促す取組を行う。	4	0	4	0	0
		自殺未遂者や自死遺族に関わる可能性が高い人に対して、適切な対応力向上を図るための支援について、理解を深める取組を行う。	1	1	0	0	0
		教職員に対して、「自殺予防教育プログラム」や「SOSの出し方教育」などに取り組むため、自殺対策や自殺予防について理解を深める研修を実施する。	1	1	0	0	0
自殺対策に関わる職員等のこころの健康を維持するための取組を図る。		1	0	1	0	0	

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	4-2 地域におけるゲートキーパー養成の取組						
2	取組の評価	a	内容	事業数	各事業の達成状況			
				4	A	B	C	D
			地域における発見・相談・見守り体制である健康福祉セーフティネット等と連携し、自殺予防を図るための取組を実施する。	2	0	2	0	0
			地域住民等に対して、ゲートキーパーとしての役割や自殺予防に関する情報提供等を行うことにより、ゲートキーパー養成の取組を実施する。	1	1	0	0	0
			不安や悩みを抱える者を支援するゲートキーパーや地域住民等の支援者が孤立しないよう関係機関・団体等との連携を図る。	1	1	0	0	0

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

茨木市いのち支える自殺対策計画（第2次） 施策・取組評価シート

1	基本目標	4 一人ひとりの権利が尊重される		
2	施策	5 こども・若者の自殺対策を推進する		
3	施策の評価 及び 取組の評価	施策の評価	施策に含む各取組の評価	
		A	a 5-1 教職員に対する普及啓発、研修の実施	a 5-6 女性への相談支援
			a 5-2 学校におけるこころの健康づくり推進体制の整備	
			b 5-3 学校等関係機関と連携した自殺対策	
			a 5-4 若年層への相談体制の充実と相談窓口情報等のわかりやすい発信	
		A：順調に進行 B：おおむね順調に進行 C：進行にやや遅れ D：進行に大幅な遅れ	a 5-5 若者に対する就労支援	
4	評価・課題	(1)教職員に対する普及啓発、研修の実施については、問題に応じてケース会議を開催し、関係諸機関との連携を図り、児童・生徒や学校の課題に対する支援の充実を図っている。メンタルヘルス不調の未然防止に資するとともに、ストレスチェック集団分析結果の活用により、各校における業務改善への意識付けができた。教育課題に応じた研修を行うことができ、<u>順調に進行していることから[a]とします。</u> (2)学校におけるこころの健康づくり推進体制の整備については、SCやSSW等の専門職を活用するとともに、教育委員会等と連携し、適切な措置・対策を講じ、<u>順調に進行していることから[a]とします。</u> (3)学校等関係機関と連携した自殺対策については、中学校、SSW、地域との連携が図られ、スタッフの支援力の向上を図った。市内全32小学校に配付するチラシに相談窓口を掲載し、周知を図り情報共有に努めており<u>おおむね順調に進行していることから[b]とします。</u> (4)若年層への相談体制の充実と相談窓口情報等のわかりやすい発信については、市HPやSNSでの周知に加え、市内の居場所団体が集まってワークショップ等を実施するイベントに参加することで、情報発信することができ<u>順調に進行していることから[a]とします。</u> (5)若者に対する就労支援については、一人ひとりへの寄り添い支援や、きめ細やかな対応を行った。就職困難者等に対し、体験型庁内職場実習、雇用型スマイルオフィスによる職場体験の機会を提供した。働く意欲があるが就職できない若者等のために就職の機会を設け<u>進行していることから[a]とします。</u> (6)女性への相談支援については、相談に対応できるよう連携体制をとり、<u>おおむね順調に進行していることから[a]とします。</u> 以上のことから、本施策の方向性に沿って順調に推移しているため、「A」評価とします。		

1	取組	5-1 教職員に対する普及啓発、研修の実施					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			3	A	B	C	D
	a	こころの病気やストレスへの対処法などの自殺予防や、関係機関と連携した支援を実施する。	3	3	0	0	0
		—					

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	5-2 学校におけるこころの健康づくり推進体制の整備					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			3	A	B	C	D
	a	いじめや友人関係等の悩みのあるこどもたちが安心して相談できるようにスクールソーシャルワーカー等の配置を行い、相談体制の充実を図る。	1	1	0	0	0
		困難やストレスに直面したこどもたちが、友達や身近な大人に助けを求めることができるように、SOSの出し方教育の実施に向けた環境づくりに努める。	1	1	0	0	0
		こどもから SOSを出しやすい環境を整えるとともに、大人がこどものSOSを受け止められる体制を構築する。	1	1	0	0	0

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	5-3 学校等関係機関と連携した自殺対策					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			5	A	B	C	D
	b	こども・若者に関わる関係機関と、若者の自殺の状況や課題を共有するなど、関係機関と連携した自殺対策を実施する。	5	0	5	0	0
		—					

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	5-4 若年層への相談体制の充実と相談窓口情報等のわかりやすい発信					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			13	A	B	C	D
	a	若者のこころの特徴についての理解を深め、必要な支援のスキル向上を図る。	2	1	1	0	0
		支援を必要としている人が、適切な支援情報を得ることができるように、様々なコミュニケーションツール等を活用した情報発信に努める。	11	7	4	0	0

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	5-5 若者に対する就労支援					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			3	A	B	C	D
	a	関係機関と連携し、若年無業者等の職業的自立を継続的・包括的に支援する。	3	1	2	0	0
		—					

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	5-6 女性への相談支援					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			3	A	B	C	D
	a	メンタルヘルスに不調がある妊産婦や、思いがけない妊娠に悩む人に対し、産前・産後を通じた相談体制の充実を図る。	2	1	1	0	0
		配偶者等からの暴力の相談体制の充実を図る。	1	1	0	0	0

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

茨木市いのち支える自殺対策計画（第2次） 施策・取組評価シート

1	基本目標	5 情報を活かして、安全・安心に暮らせる		
2	施策	6 地域レベルの実践的な取組を推進する		
3	施策の評価 及び 取組の評価	施策の評価	施策に含む各取組の評価	
		A	a 6-1 地域におけるネットワーク構築	
			a 6-2 地区保健福祉センターからの情報提供	
		A：順調に進行 B：おおむね順調に進行 C：進行にやや遅れ D：進行に大幅な遅れ		
4	評価・課題	(1)地域におけるネットワーク構築については、自殺対策の取組状況の報告を行い、管内市町と共有するための会議等への参加ができており、連携協定のストラクチャの評価ができること、事業の実施が順調に進行しているプロセスがあることから[a]とします。 (2)地区保健福祉センターからの情報提供については、自殺対策の取組状況の報告を行い、自殺の状況・課題の共有が図られてるストラクチャが評価できること、周知活動もおおむね順調に進行しているプロセスがあることから[a]とします。 以上のことから、本施策については、メンタルヘルスやゲートキーパー等についての知識の周知に一定の課題があるものの、施策の方向性に沿って順調に推移しているため、「A」評価とします。		

1	取組	6-1 地域におけるネットワーク構築						
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況				
			2	A	B	C	D	
		a	各機関の調査・分析結果を基に、地域の実情に応じた様々な分野のネットワークや関係機関・団体等との連携と協力により、自殺対策の推進を図る。	2	1	1	0	0
—								

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	6-2 地区保健福祉センターからの情報提供						
2	取組の評価	a	内容	事業数	各事業の達成状況			
				2	A	B	C	D
			地域の専門相談支援機関に対して、市の自殺の状況・課題等の共有を図る。	2	1	1	0	0
			—					

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

茨木市いのち支える自殺対策計画（第2次） 施策・取組評価シート

1	基本目標	5 情報を活かして、安全・安心に暮らせる			
2	施策	7 市民一人ひとりの気付きと見守りを促す			
3	施策の評価 及び 取組の評価	施策の評価	施策に含む各取組の評価		
		A	a 7-1 自殺に関する正しい知識の普及啓発		
			a 7-2 精神疾患等に関する理解の促進		
			a 7-3 自殺予防週間と自殺対策強化月間における普及啓発の強化		
		A：順調に進行 B：おおむね順調に進行 C：進行にやや遅れ D：進行に大幅な遅れ			
4	評価 ・ 課題	(1)自殺に関する正しい知識の普及啓発については、普及啓発が図られており、周知活動が順調に進行しているプロセスがあることから[a]とします。なお、WHO自殺報道ガイドラインで、メディア関係者が自殺関連報道をする際の基礎知識が発表されたことから機会が減少しており、取組内容の見直しが必要です。			
		(2)精神疾患に対する理解の促進については、普及啓発が図られており、周知活動が順調に進行しているプロセスがあることから[a]とします。			
		(3)自殺予防週間と自殺対策強化月間における普及啓発の強化については、当初の計画通り周知活動が順調に進行しているプロセスがあることから[a]とします。			
		以上のことから、本施策については、こころの健康づくり講演会の実施に一定の課題があるものの、施策の方向性に沿って順調に推移しているため、「A」評価とします。			

1	取組	7-1 自殺に関する正しい知識の普及啓発					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			2	A	B	C	D
	a	市広報誌やホームページ等を活用して、自殺や自殺関連事象に関する正しい知識の普及啓発を行う。	1	1	0	0	0
		自殺報道に影響されるウェルテル効果や、惨事報道のこころの健康への影響について市ホームページ等により正しい知識の普及啓発を行う。	1	0	1	0	0

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	7-2 精神疾患等に関する理解の促進					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			2	A	B	C	D
		a	うつ病等の早期発見・早期対応のため、市広報誌やホームページ等により、精神疾患に関する正しい知識の普及啓発を行う。	1	1	0	0
	依存症等について正しい理解の促進を図る。	1	0	1	0	0	

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	7-3 自殺予防週間と自殺対策強化月間における普及啓発の強化					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			2	A	B	C	D
		a	1	1	0	0	0
		自殺対策の重要性に関する理解と関心が深まるように、自殺対策ネットワーク連絡会関係機関・団体等に対して、各種相談支援及び啓発事業等の周知を図る。	1	0	1	0	0

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

茨木市いのち支える自殺対策計画（第2次） 施策・取組評価シート

1	基本目標	6 持続可能な社会保障を推進する		
2	施策	8 精神保健医療サービスを推進する		
3	施策の評価 及び 取組の評価	施策の評価	施策に含む各取組の評価	
		A	b 8-1 精神疾患等によるハイリスク対策	
			a 8-2 精神科医療情報の周知	
			a 8-3 地域におけるネットワーク構築	
		A：順調に進行 B：おおむね順調に進行 C：進行にやや遅れ D：進行に大幅な遅れ		
4	評価・課題	(1)精神疾患等によるハイリスク対策については、必要に応じて関係機関等との連携を実施しており、おおむね順調に進行していることから「b」とします。 (2)精神医療情報の周知については、普及啓発が図られており、当初の計画通り順調に進行していることから「a」とします。 (3)地域におけるネットワーク構築については、専門職を配置しており、相談支援体制の充実が図られストラクチャが評価できること。また、連携強化が図られており、当初の計画通りに順調に進行していることから「a」とします。 以上のことから、本施策については、医療機関との連携に一定の課題があるものの、施策の方向性に沿って順調に推移しているため、「A」評価とします。		

1	取組	8-1 精神疾患等によるハイリスク対策					
2	取組の評価	内容	事業数	各事業の達成状況			
			2	A	B	C	D
	<u>b</u>	精神疾患等により自殺の危険性が高い人に対し、保健所や医療機関等との連携強化を図る。	2	1	1	0	0
		—					

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	8-2 精神科医療情報の周知						
2	取組の評価	a	内容	事業数	各事業の達成状況			
				2	A	B	C	D
			医療機関の情報について周知を図る。	2	2	0	0	0
			—					

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ

1	取組	8-3 地域におけるネットワーク構築						
2	取組の評価	a	内容	事業数	各事業の達成状況			
				4	A	B	C	D
			精神保健福祉相談員等を配置し、相談支援体制の充実を図る。	2	1	1	0	0
			精神保健の課題がある人が、適切な支援につながるように相談支援体制との連携に努める。	2	2	0	0	0

a：順調に進行、b：おおむね順調に進行、c：進行にやや遅れ、d：進行に大幅な遅れ